

SEINAN Spirit

No. 226
西南学院大学
2023 Autumn

【決断ターニングポイント!】
カクワカ広島

【今、私は、】
海外ボランティア・ワークキャンプ
in フィリピン

特集

「Chat GPT」付き合おう?

Chat GPT

【世界がキャンパス】
ワルシャワ経済大学
【ポーランド】

【MY ANSWER】
新型コロナウイルス感染症は、
どのような変化をもたらしましたか?

【こんにちは先輩】
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社

【開いてみよう! 知のトピラ】
グローバル化と国民経済

「SEINAN Spirit」は
スマホでも読めます!



SEINAN Spirit

No. 226

2023 Autumn

2023年9月15日発行(1)季刊誌

編集/西南学院大学総合企画部広報・校友課 〒814-8511 福岡市早良区西新6-9-92 ☎092-823-3248

発行/西南学院大学

公式SNSをフォローして
西南学院大学の「今」を知ろう!

西南学院大学公式 SNS

Facebook



X(旧 Twitter)



YouTube



Instagram



皆さまからの「いいね!」をお待ちしております!

西南学院 Letter
にご登録ください!

メルマガ「西南学院Letter」は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月2回の頻度でお届けいたします。



ぜひご登録
ください!

Spiritを読んでの
ご意見・ご感想
をお寄せください!

皆さんの声を生かした紙面づくりを目指していきたく、
QRコードよりご意見や感想をお寄せください。
あなたの声が広報誌に反映されるかも?!



西南学院大学サポーターズ募金ご協力のお願い

選べる
用途の種類

西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向にそった目的に使用するために用途をお選びいただけます。皆様のお気持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力をお願いします。

1 大学給付奨学金

大学給付奨学金制度は、家庭の経済的理由により修学継続が困難な学生に対して、一定の金額を給付する事によって、修学を支援し勉学に専念できる環境を整えることを目的として設けられた制度です。

2 教育・研究活動支援

西南学院大学の教育・研究活動のために用います。本学では、教育に関する特色あるプロジェクトを支援するための制度があり、さまざまなプログラムを実施しています。

3 スポーツ・文化活動支援

学生の課外活動(体育会、学術文化会、応援指導部、その他公認団体、宗教部グループ活動)のために用います。ご希望のクラブ等を指定することが出来ます(※愛好会は対象外となります)。クラブの一覧については、西南学院大学ホームページをご覧ください。



4 グローバル人材育成支援

海外派遣留学やキャリアアップ海外研修など、学生が海外で活躍できるプログラムのために用います。

5 ボランティア活動支援

学生のボランティア活動の支援のために用います。本学ではボランティア活動を建学の精神の具現化並びに大学の社会貢献の一つと位置づけ、ボランティアセンターを設置し、さまざまな取り組みを行っています。

6 新体育館・プール棟建設支援

2023年6月に竣工した新体育館・プール棟の建設のために用います。なお、建物の名称は「西南学院大学体育館(ジムナシオン)」に決まりました。

西南学院大学サポーターズ募金については、ホームページをご覧ください。

[<https://www.seinan-gakuin.jp/supporters/>]

西南学院大学 募金



【寄付に関するお問い合わせ先】 総合企画部 広報・校友課 | TEL: 092-823-3248 E-mail: koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学

inspiring you
心と知を紡ぎ、世界へ

【特集】
どう付き合う？

ChatGPT

今や、メディアで毎日のように見聞きする「ChatGPT」。

「大学の課題で使って良いの？」など、

学業での活用に疑問を持つ人も多いのではないのでしょうか？

そこで、今号の特集では学生3名と一緒に

「ChatGPT」との付き合い方について考えてみました。

皆さんもこの機会に「ChatGPT」について考えてみませんか？

※取材は2023年6月末に実施しました。

使えた方が
良いのかな...

何となく
使ったことは
あるけど...

友達に
使ってたけど...

ChatGPTとは？

アメリカの企業・OpenAIが開発した生成AIサービス。GPTとは、「Generative Pre-trained Transformer」の略。インターネット上の膨大な情報を学習し、自然な対話形式でAIとやり取りできるのが特徴です。

p02

【特集】

どう付き合う？ ChatGPT

【今、私は、】 p13
キーワード

海外ボランティア・
ワークキャンプ
in フィリピン
在学学生！
国際文化学部国際文化学科 2年 大番 島さん

【就活サプリ】 p11

満足のいく結果のために、
今、やるべきことを
確認しておきましょう。

p09

【決断ターニングポイント！】

カクワカ広島

共同代表 田中 美穂さん

【世界がキャンパス】 p17

ワルシャワ経済大学

【ポーランド】

海外派遣
留学生

外国語学部外国語学科 4年 渡邊 陽大さん

p15

SEINAN NEWS

【こんにちは先輩】 p21

富士フィルム ビジネスイノベーションジャパン 株式会社

取締役社長 旗生 泰一さん

【MYANSWER】 p19

新型コロナウイルス感染症は、 どのような変化をもたらしましたか？

人間科学部心理学科 井上 久美子教授
×
商学部商学科 松田 温郎教授

p25

INFORMATION

【開いてみよう！知のトビラ】 p23

経済学部国際経済学科 立石 剛 教授

教授の研究テーマ グローバリゼーションと国民経済

ゼミテーマ アメリカ経済

通学路

#121

雲の柱 火の柱

『ぼくはひとり』(2021年作・絵・フジノゲン・クワン/フインキム・リエン 発行・富山房インターナショナル)という絵本を読んだ。夜も明けきらぬうちに意を決して一人の少年がポートを漕ぎ出す。孤独と暗闇の恐怖の中、波や雨が追い打ちをかける。村を抜け森を抜け、ずいぶん長い距離を漕いで、朝になった。周りには同じようにポートに乗ったたくさんの友達。お互いの無事を安堵するかのよう挨拶を交わす。みんなたどり着けた。目的地は小学校。なんと通学の話だった。ベトナム南東部の実話を元にしてのらしい。注記によれば、ポートで通学する子どもたちは命を落とす危険もあるのだとか。10年前のドキュメンタリー映画を思い出した。『世界の果ての通学路』(2012年 監督・パスカル・プリソン)。冒頭、そこに映し出されるのは無事を祈って心配そうに送り出す親たちと緊張した表情の子どもたち。そして、いき出発。ケニアの兄弟は動物に襲われないようにサバナを小走りして往復4時間。インドの3兄弟は、脚が不自由な兄をオンボロ車いすに載せて悪路に阻まれながら往復8キロ。その他にもいくつかのエピソードが過酷な通学事情を織りなす。ここに登場する子どもたちは皆、命がけで学校に通う。

日本では、最近台頭してきた通学方法がある。Zoomにオンデマンド。ソファでゴロゴロしながら「ボチッ」。息も切れなければ汗もかかない。ITを活用して効率良く学ぼうというもの。果たしてそれでいいのか？効率と引き換えに大切なものを失ってはいないか？遅しさはどうする？思いやりはどうする？世界の果てをインズン進む彼らの方が、遥か先を行っているように思える。

広報委員長 黒木 重雄

492人が回答! ChatGPT 学生アンケート

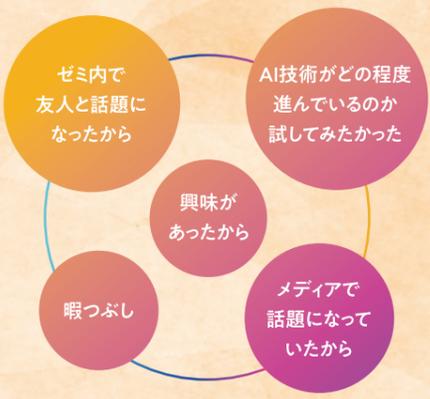
話題のChatGPTについて、西南学院大学の学生を対象にアンケートを実施。ChatGPTの認知度や利用率、利用目的、満足度など、学生の皆さんが気になることを調査しました!

※西南学院 広報・校友課調べ(2023年6月8日~7月3日)N=492

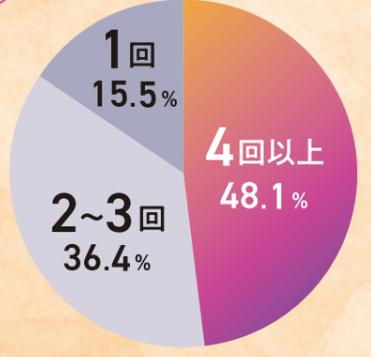


西南生の今を調査!

Q6 使おうと思った理由は?

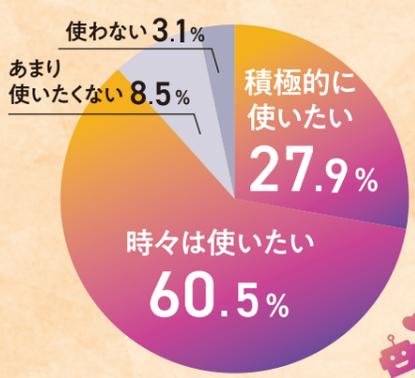


Q5 何回くらい使ったことがある?

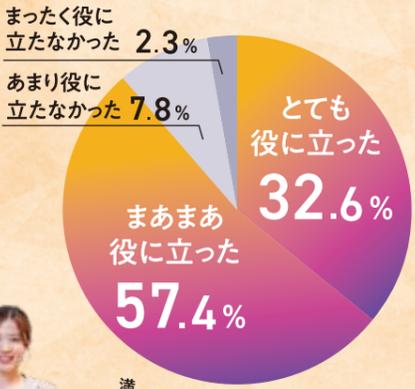


Yesの学生に質問!

Q9 ChatGPTを今後も活用したい?



Q8 ChatGPTは役に立った?

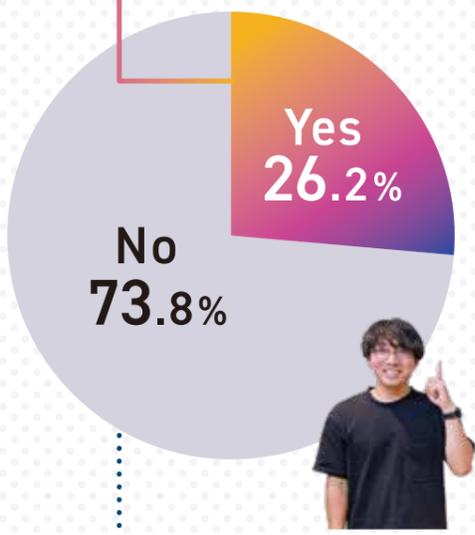


Q7 ChatGPTを利用した目的は?

- 1位 課題の下調べ
- 2位 課題のアイデア出し
- 3位 外国語の翻訳
- 4位 就活・インターンシップのエントリーシート作成
- 5位 レポート作成
- 6位 プレゼン資料の作成
- その他 メール作成、小説執筆、悩み相談

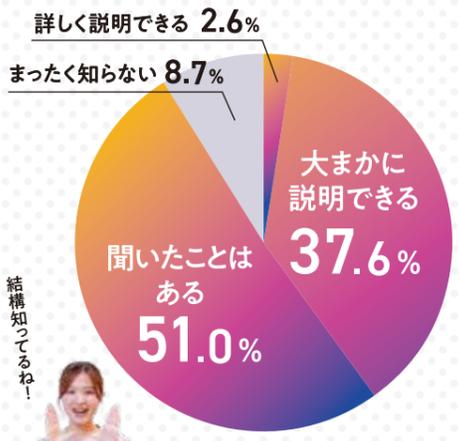
ChatGPT利用経験者の多くが課題や外国語翻訳など「学業」にChatGPTを活用。その他、就活関連での活用や「悩み相談」「小説執筆」などプライベートで利用した学生も。

Q2 ChatGPTを使ったことはある?



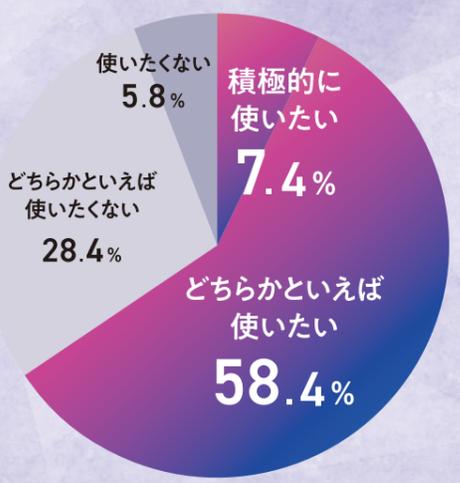
使ったことはある? 使ったことある! 使ったことある!

Q1 ChatGPTについてどの程度知っている?



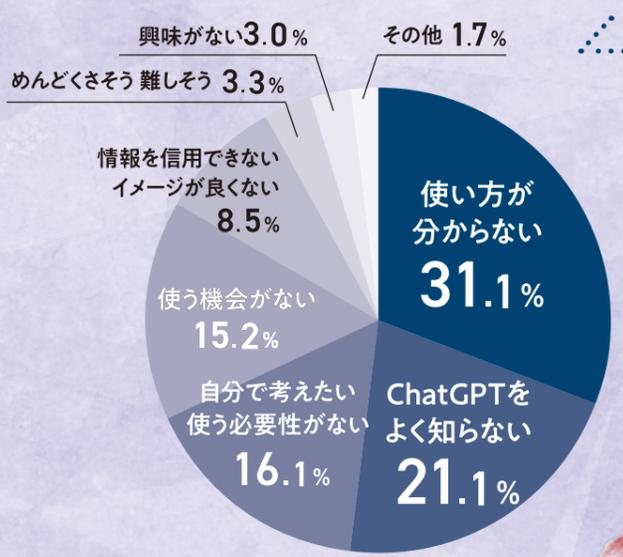
結構知ってるね! 9割以上の学生はChatGPTを知っていますが、「聞いたことはある」という層が半数を占めています。また、ChatGPTを認知はしていますが、説明できる学生は約4割。

Q11 大学がChatGPTの利用に関するルールや基準を決めたら、使いたいと思う?



ChatGPTを利用したことがない学生の約6割は、大学のガイドラインが決まれば、「ChatGPTを利用したい」と考えていることがうかがえます。

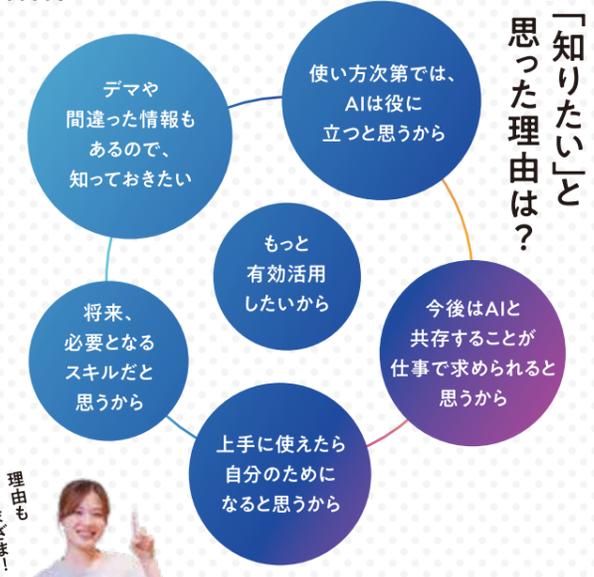
Q10 ChatGPTを使わない理由は?



ChatGPTを利用していない学生の約半数は、使い方も含めてChatGPTに関する知識がないことを理由に挙げています。その他の中には「使って良いのか分からない」という声も。

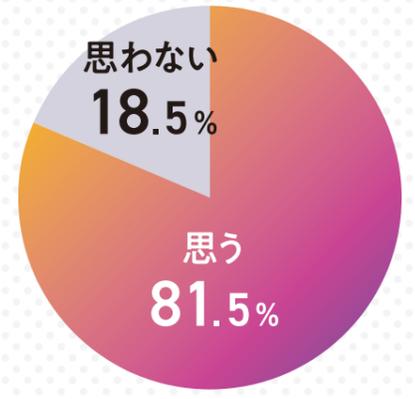
Noの学生に質問!

Q4 「知りたい」と思った理由は?



理由も

Q3 ChatGPTの上手な使い方を知りたいと思う?



約8割の学生がChatGPTに対して「有効活用したい」「知識として必要」と思っている一方、「知りたい」と思わない学生も約2割。その理由として、「必要性を感じないから」「興味がないから」「まだ信用できないから」「自分で考える力が衰えそうだから」が挙げられました。

※パーセンテージは小数点2桁以下を四捨五入して表記。

難しそう...

意外と便利？

「ChatGPTは、どんな文章を書くの？」
そんな疑問に答えるため、学生3名がChatGPTを体験！
課題に対する自作の文章とChatGPTが作成した文章を比較。
果たして、その違いとは？

※言語モデル「GPT-3.5」のChatGPTを使用。

課題1

『自己PR』を 350~400字でまとめる



ChatGPTの
回答

プロンプト※

#主語は私
#下記の内容を「自己PR」として400字程度でまとめる
・さまざまな環境に飛び込む
・ボランティアやイベントに参加
・お話アカデミー
・熱中することの素晴らしさ
・さまざまな立場、職種の方々との交流

私は多様な環境に飛び込み、成長を追求する意欲的な人間です。ボランティアやイベントに参加することで、新たな経験と学びの機会を求めています。また、お話アカデミーでの活動を通じて、コミュニケーション能力と表現力を向上させました。熱中することの素晴らしさを知り、情熱を注いだ挑戦を通じて自己成長を実感しています。さらに、さまざまな立場や職種の方々との交流を重視し、異なる視点や経験から学びを得ることができます。私は経験とつながりを大切に、常に学び続ける姿勢を持っています。自己の可能性を広げるために、新たな挑戦に積極的に取り組んでいます。私の目標は、個人の成長を通じて社会に貢献することであり、自身の能力を最大限に発揮できるよう努力しています。

※ChatGPTが応答を生成するための命令文。



佐藤さんの
回答

文章は30分ほどで書けましたが、自分の「強み」を見つけることが難しく、内容を考えることに時間がかかりました。

私の考える自分の長所は、さまざまな環境に一人で飛び込んでいけることです。もともと学外の方々と関わるのが好きでしたが、大学生になり、これまで以上にさまざまな機会に恵まれ、大学入学以降、ボランティアやイベントスタッフなど多くの活動に参加してきました。

例えば、学生スタッフとして参加したRKB毎日放送「お話アカデミー」では、福岡県の小学生を対象とした音読コンクールの実施や、その受賞者とアナウンサーが共演する朗読会の運営に学生スタッフとして参加させていただきました。参加している小学生が真剣に音読する姿からは、人前に立って情報を発信することの意義と、そして何よりもアナウンサーという仕事に取り組むプロとしての、高い意識と姿勢を学びました。

これからもさまざまな立場や職種の方々との交流を通じて、新しい視点を得るとともに、自分のキャリアについて考えていきたいと思います。

2年 高須 涼大さん
(久留米高等学校出身)



2年 佐藤 史哉さん
(鳥栖高等学校出身)

1年 長尾 ひなたさん
(祐誠高等学校出身)

〈2つを比べてみて...〉

佐藤さんが書いた文章の方が、個人の体験が色濃く出ていて感じます。ChatGPTの方は指示したキーワードは出ていますが、正しく説明ができていないので、指示の精度を高めていく必要がありますね。就職活動の自己PR作成のお手本にはなるかもしれませんが。

〈2つを比べてみて...〉

佐藤さんが書いた文章は、自分の経験をもとに書いていることが伝わり、本人にしかかけない文章だと思います。これは人間にしかできないことで、ChatGPTには書けない文章だと感じました。

〈佐藤さんの感想〉

ChatGPTが想像以上にきちんとした文章を書けることに驚きました！「お話アカデミー」については説明不足だったので、内容に誤りがあるけど、文章はまとまっていますね。でも、テンプレートのような模範解答で、内容も「こんなにハイスペックな人間いるのかな？」と思ってしまいました(笑)。正直、自分で書いた文章の方が自分らしく伝わると感じました。

課題2

将来、社会で活躍するために、 大学で身に付けておくべき力とは？ (400字程度)



高須さんの
回答

まずは要素を書き出し、その後、文章にしました。学生時代に身に付けておくべき力は、文章にしたこと以外にもたくさんあるので、何を選択すれば良いか迷いました。

私が思う「将来社会で活躍するために、大学で身に付けておくべき力」は、さまざまな価値観を持った人たちと渡り合えるコミュニケーション力です。私がそう考える理由は、まず、これまでの私たちは保護者や教職員の方を除けばほとんど同年代のみのコミュニティに属しており、また、それに伴い同じような価値観を持った人たちが集まりがちでした。しかし、大学を卒業し、社会に出ればさまざまな背景を持った価値観の異なる人々と関わっていかねばなりません。そこで、私はこの学生生活をそのための準備期間と捉え、ゼミやサークル活動はもちろんのこと、そのほかにも学内外問わず色々なイベントに参加することで多種多様な考え方を持った人々と関わり、その中で「会話」を重視することでコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの価値観を尊重しつつ、かつ自らの軸も見つけていきたいと考えています。



長尾さんの
回答

何を書いたら良いかわからず、ヒントが欲しかったので、まずはインターネットで調べてみました。その中から自分に当てはまるものを選んで、文章にまとめました。

私は、色々な力の中でも、特に次の三つの力を身に付けることが大切であると考えます。一つ目は、語学力です。グローバル化が進んでいるため、将来、英語やその他の言語を使って仕事をすることが現在よりも増えると考えます。私たちが仕事をしていく上で、語学力があることはとても有効な武器になると考えます。二つ目は、自己分析力です。長い学生生活の中で、自分がやりたいこと、好きなことなど、自分自身と向き合う時間を作るべきです。また、自分の行動を見直して、自分に足りない部分を見つけることも大切であると考えます。なぜなら、自己分析によって、自分の強みや弱みを理解し、その結果、自分に合った職を見つけやすくなるからです。また、職業だけでなく自分のことを知ることは、自分の幸福にもつながると思います。三つ目は、読解力です。読解力が身に付くことで、仕事への理解が深まり、業務の効率も上がると考えます。学生生活では四年間という非常に長い学生生活をどう過ごすかが重要です。



ChatGPTの
回答

プロンプト※

将来、社会で活躍するために、大学で身に付けておくべき力とは？
350文字~400文字でまとめてください。

将来社会で活躍するために、大学で身に付けるべき力は、以下の要素が挙げられます。情報の洞察力や客観的な分析能力を養い、問題解決能力を高めることが求められます。第二に、コミュニケーションスキルが必要です。効果的なコミュニケーションは、他者との協力やチームワークを促進し、リーダーシップの発揮にもつながります。第三に、創造性と革新性が求められます。変化の激しい社会では、新しいアイデアを生み出し、柔軟な発想で問題に取り組む能力が重要です。第四に、デジタルリテラシーが欠かせません。技術の進化に追いつき、情報の収集や処理、データ分析を行える能力が求められます。最後に持続可能なマインドセットが重要です。環境への配慮や社会的な責任感を持ち、持続可能な解決策を考える能力が必要です。これらの力を身に付けることで、将来のキャリアや社会での成功につなげることができます。

※ChatGPTが応答を生成するための命令文。

〈長尾さんの感想〉

自分では思い付かない難しい内容も挙げていて、率直に「ChatGPTって賢い!」と思いました。さまざまな要素を挙げつつ、簡潔にまとめられています。私の文章は、ChatGPTに比べて要素は少ないですが、その分、一つひとつをクローズアップしている点は良いと思いました。

〈高須さんの感想〉

元が英語版なので、おかしな日本語の文章になると思っていましたが、精度が高くで驚きました。しかも、数秒でこれだけの文章を作成することは人間にはできないことです。私がコミュニケーション力に特化しているのに対して、五つの項目が出てくるのはすごいな。でも、やっぱり自分で書いた文章の方が、愛着が湧きます。

〈3つを見比べてみて...〉

長尾さん、高須さん、ChatGPTの回答はどれも間違っていないけど、本人が書いた文章の方が伝えたい「メッセージ」があるように感じます。ChatGPTはテーマに対して書けることを単に書き連ねたようで、ビジネス雑誌の記事のようです。



ChatGPTを体験してみよう...



初めてChatGPTを使ってみて、率直に面白いツールだと思いました。レポートを作成する時、中身は自分で考えとして、文章構成の参考として活用できるかもしれません。



時短できるという点ではChatGPTは便利なので、これからますます活用する人が増えるだろうと感じました。でも、うまく利用しないと、自分で考えなくなるかも...

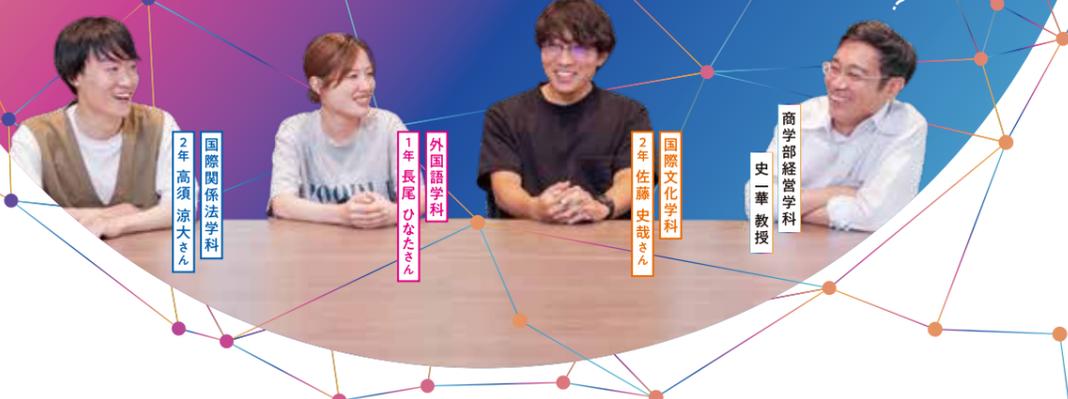


短時間でこれだけの精度の回答が出せるのであれば、仕事の効率化にもつながるだろうと感じました。でも、楽をしすぎるのもどうなのか...。自分の人生を決める時には、使いたくないかな。

教員×学生

ChatGPTを 考えてみよう。

ChatGPTを体験した3名の学生と教員で座談会を実施。
学業に活用しても良いのか。スキルを身に付けるべきか。
さまざまな意見やアドバイスを通して、
それぞれが「ChatGPTとどう付き合う?」の答えを導きました!



商学部経営学科
史一華 教授

国際文化学科
2年 佐藤 史哉 さん

外国語学科
1年 長尾 ひなた さん

国際関係法学科
2年 高須 涼大 さん

**わずか数秒で文章作成。
知識も膨大なChatGPT。**

皆さん、実際にChatGPTを使ってみてどうでしたか?

わずか数秒で素晴らしい文章を作成できることに驚きました。どんな文章を書くことが得意な人でも、ChatGPTのスピードにはかなわないと思いました。

しかも、自分にはない視点やアイデアもあり、なおかつ簡潔で分かりやすい。私より優れているなど思いました。

皆さんが言うように、文章作成が速くて上手という点はChatGPTの大きな特徴ですね。

でも、具体性やその人らしさに欠けているなど感じました。

それもまたChatGPTの特徴です。そもそも、ChatGPTは膨大なデータをもとに、統計的に最も可能性の高い単語を選んで文章を生成しています。いわば、「スーパー真似上手」。だから、自己PRのような個性が見える文章の作成は苦手です。

ChatGPTには、どのようなメリットがあるのですか?

1つ目は、対話を通して学習できる点です。従来のコンピュータは短い文章しか追うことができませんでしたが、ChatGPTは長い文脈を追うことができる。そのため、質問を重ねていくことで要求に合わせた文章にブラッシュアップすること

**ChatGPTは
世界を変える
革命的なツールです。**



とができます。2つ目は、大量の知識を持っているので、幅広い範囲の質問に答えることができます。

実は以前、授業で出た用語の意味が分からず、試しにChatGPTに質問してみたら、回答がとても分かりやすく、すぐに理解できました。

ChatGPTは、ちょっと知りたいた時にちょうど良い。WEBであれば検索するよりも効率的です。そして、3つ目のメリットが皆さんも体感した文章作成能力ですね。詩や小説も書くことができます。最後に、4つ目が情報整理、いわば要約です。

知らない間にAI技術は進んでいるんですね。

「それなりの回答をくれる」というのが、私のChatGPTに対する見解です。例えるなら、「お手軽な相談相手」でしょうか。

確かに、この企画でChatGPTを初めて使ってみて、意外に身近なツールだなと思いました。

そうそう。だから、先生に何度も質問するのは気が引けるけど、ChatGPTなら遠慮なく何度も質問できます。試しに使ってみて、自分がどう感じるかということがとても重要だと思います。

**正確性、セキュリティ、
著作権の問題点も。**

ChatGPTには、もちろんデメリットもあります。一番のデメリットは、「回答が必ずしも正確とは限らない」ということです。もっともらしく答えていますが、実は間違っている場合もある。しかも、さまざまなサイトから情報を収集しているため、何を根拠に回答しているのかわからない。正否を確認することが難しい。その点で言えば、WEB検索は手間がかかりますが、信頼性の高いサイトから情報を収集することができます。

**注意すべきは、
「鵜の目と「コビエ」。**

メリット、デメリットを聞いた上で、ChatGPTをどのようにレポート作成に利用しようと考えていますか?

私は文章の起承転結や構成を参考にすることはあっても、そのままコピペして提出することはNGだと考えています。ChatGPTはとても便利ですが、頼り過ぎてはいけません。どこかで線引きが必要ではないでしょうか。

同意見です。自分で何も考えず、最初からChatGPTに頼るのは、最

**ChatGPTを
利用してその是非を
考えることが重要。**



自分のためにならないですよ。皆さんの言う通り、ChatGPTでは、「鵜の目」と「コビエ」を注意しないといけません。自分で考える機会を失ってしまうことになりま

ChatGPTの活用については賛否両論ありますが、まず利用して、善し悪しを理解した上で、ChatGPTの是非について考えることが大切だと思います。

これからはAIと共存する社会になると思うので、AIを使いこなす力が必要になってくるはず。そのためにも、学生時代にChatGPTを活用し、そのスキルを身に付けたいと考えています。そうですね。ただ、自力で頑張って書いたレポートとChatGPTの回答をそのままコピペしたレポートがあったとしたら、先生方はこれらを見分けることができるのか気がになります。

実は、教員にとってそれが一番難しい。フェアな評価をするためにはどうすれば良いか。ChatGPTが教育

これが私のChatGPTとの付き合い方!

**ChatGPTに頼らず、
学問に向き合いたい。**

私が興味関心を寄せる哲学や文化人類学は、答えのない問いに対して自分なりの考えを打ち立てていく営みです。そのため、学業でChatGPTを利用することはあまりないと思いますが、小説を書かせる個人的に楽しむというように、趣味の範囲で利用してみようと思います。



**学力向上に役立てることを
目的に積極的に活用します。**

「学力向上に役立てる」という目的を持って、ChatGPTを積極的に活用していきたいと考えています。もちろん、課題やレポート作成は自分の力で取り組むことが前提です。その上で、「用語の意味を知り、理解を深める」「新たなアイデアを知り、視野を広げる」といった活用方法を試してみたいと思います。



**ChatGPTはサポート的に活用。
まずは、何事も自分で考える!**

ChatGPTを学業に活用することは、部分的には賛成です。しかし、頼り過ぎてしまうのは、文章構成力などの力を身に付けることができません。まずは、自分の頭で考える。用語が分からない時、参考にしたい時にサポート的にChatGPTを活用したいと思います。またChatGPTの良い点、悪い点を把握した上で、有効な活用方法を導き出していきたいと思っています。





人生の転機をくれたサーロー節子さんの思い出の一枚。

**団体立ち上げに迷いなし！
出会いが私の人生を変えた。**

「カクワカ広島」は、核なき世界の実現に向けて共に考え、行動することを信条に2019年に設立した団体です。私は本業である会社員と並行し、団体の共同代表を務めています。もともと、学生時代から社会課題に興味がありました。しかし、自らアクションを起こしたことはなく、課題解決は有識者など一部の人ができていることだと思っていました。しかし、それは大きな間違いでした。そのことに気付かせてくれたのは、被爆者であり反核運動家のサーロー節子さんの講演

会での言葉です。「願うだけでは世界は変わりません。必要なのはあなた一人ひとりの具体的な行動です」。当時、「きつと誰かが解決してくれる」と心のどこかでそう思っていた私に、サーローさんの言葉が刺さりました。そして、その1カ月後、同世代の仲間と一緒に「カクワカ広島」を立ち上げることに決めたのです。

サーローさんの言葉に感銘を受け、「カクワカ広島」を立ち上げるまでになった背景には、国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の国際運営委員である川崎哲さんの存在が大きく影響しています。私は川崎さんに出会い、核兵器の問題が広島や長崎だけの話ではなく、未来を生きる私たちにも深く関わっていることに気付かされました。そして、政治が私たちの暮らしと直結していることも。その後、ICANのウェブサイトのニュース記事を日本語に翻訳する仕事を任せてもらえることになり、そこから本格的に核兵器の問題を調べ、自分なりに考えを深めていきました。その経験があったからこそ、「カクワカ広島」を立ち上げる決心ができたのだと思います。サーロー節子さん、川崎哲さんとの出会いが、私の人生を大きく動かしました。

**被爆地だけの問題ではない。
核問題を通して
社会に関心を。**

私たちが「カクワカ広島」を設立する発端となったのは、2017年に国連で採択された「核兵器禁止条約」に日本政府が不参加を表明したことでした。「被爆国である日本がなぜ？」と、疑問を持った同世代が集まりました。団体設立後は一貫して、広島から選出および広島にゆかりのある国会議員に会い、核政策への姿勢、特に「核兵器禁止条約」への考えを尋ねる活動を続け



核政策について直接考えを伺う議員面会の様子。

ています。これまで12名の国会議員と面会し、得られた回答は有識者の有益な判断材料となるよう、ウェブサイトやSNSに掲載。選挙期間以外にもトークイベントなどを定期的に催しています。メディアで取り上げられる機会も増え、少しずつですが、活動に賛同してくれる方も増えてきました。

現在、2023年11月にNYの国連本部で行われる「核兵器禁止条約」の締約国会議に、日本も参加するよう政府に働きかけています。開催時期には、私も現地に行くつもりです。被爆者の高齢化が進み、次世代への継承が急がれる昨今、福岡出身の私が活動を続けることで、この問題が広島や長崎、そして日本だけではなく、全ての人が当事者であることをもっと広く伝えていくつもりです。現在は、

核兵器の問題が「ジェンダー」や「気候変動」、「格差」など、さまざまな社会課題と地続きの問題であることの発信にも注力しています。今後は、横のつながりも深めながら、全国、世界へと活動の幅を広げていきたいです。



講演会も大事な活動の一つ。

**未来を変える行動は、
「なぜ？」と感じる
疑問から始まる。**

政治のみならず、世の中の仕組みや日々の生活に対し、「現状を変えたい」という強い思いや、「なぜ？」という疑問がとても大事だと思います。ただ、流れに身を委ねるのではなく、少し立ち止まり、疑問が湧けば声を上げる。「どうせこんなものだから…」と諦めず、何か違和感を感じたら、そのことを知る（学ぶ）ことから始めてみませんか？次世代に誇れる未来のために。



**核兵器のない
世界の実現に向け、
核問題をみんなの“自分ごと”に。**

決断 ターニングポイント！

No.16

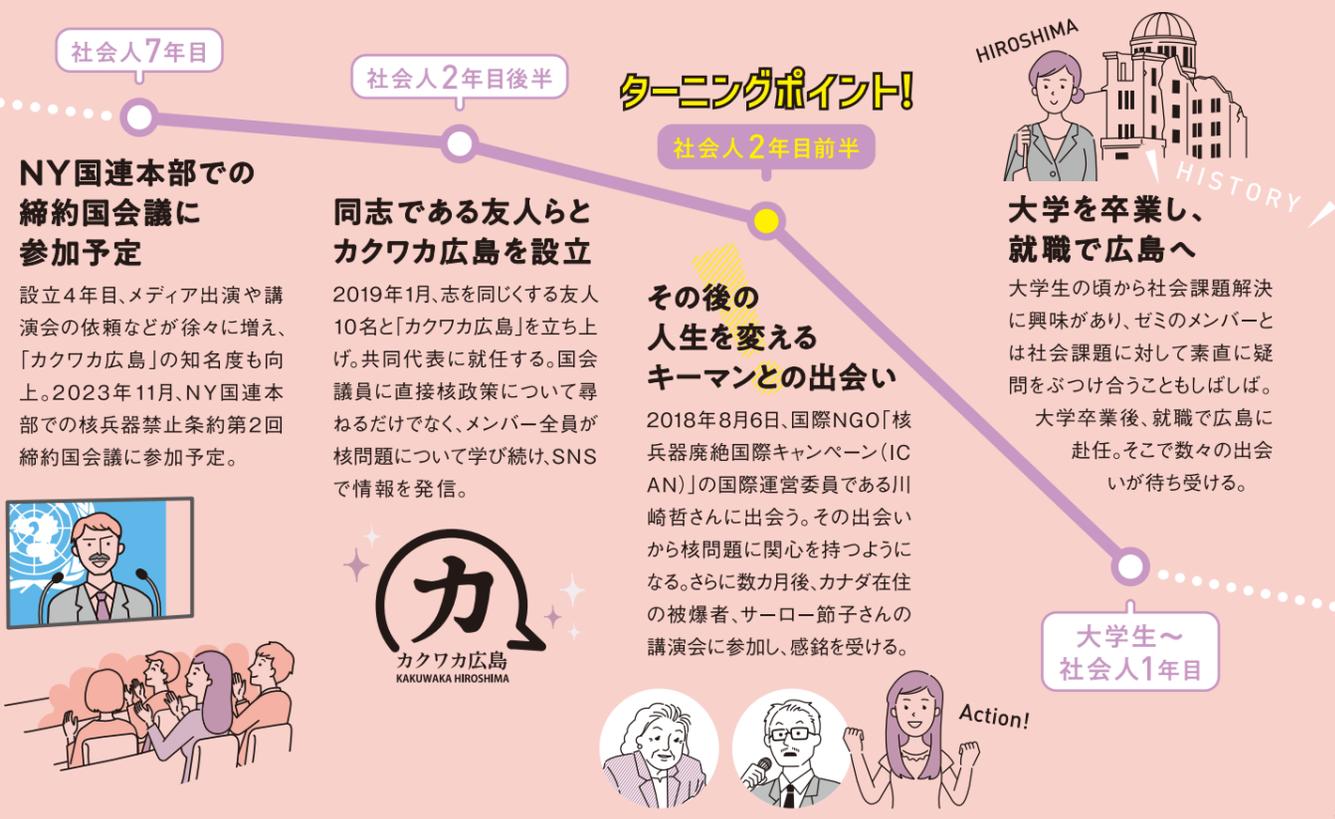
人生は選択の連続。社会で活躍する先輩たちの「決断」から学ぶ、働くことへのヒント

PROFILE 2017年
文学部外国語学科英語専攻
(現・外国語学部外国語学科)卒業

大学在学中、短期留学でペンシルベニア州へ。その後、長期留学でサウスカロライナ州のファーマン大学へ留学。卒業後、会社員の傍ら、「カクワカ広島」の共同代表に就任。大学時代に培った英語力を生かし、海外とのパイプ役も担う。

●「カクワカ広島」とは…
団体の正式名称は「核政策を知りたい広島若者有権者の会」。国会議員に核兵器のない世界の実現への道のりを尋ね、その情報をSNSやイベントなどで発信。国会への請願書の提出も行う。

HP kakuwakahiroshima.jimdofree.com/



今、必要な情報を
ギュッと凝縮！

就活サプリ

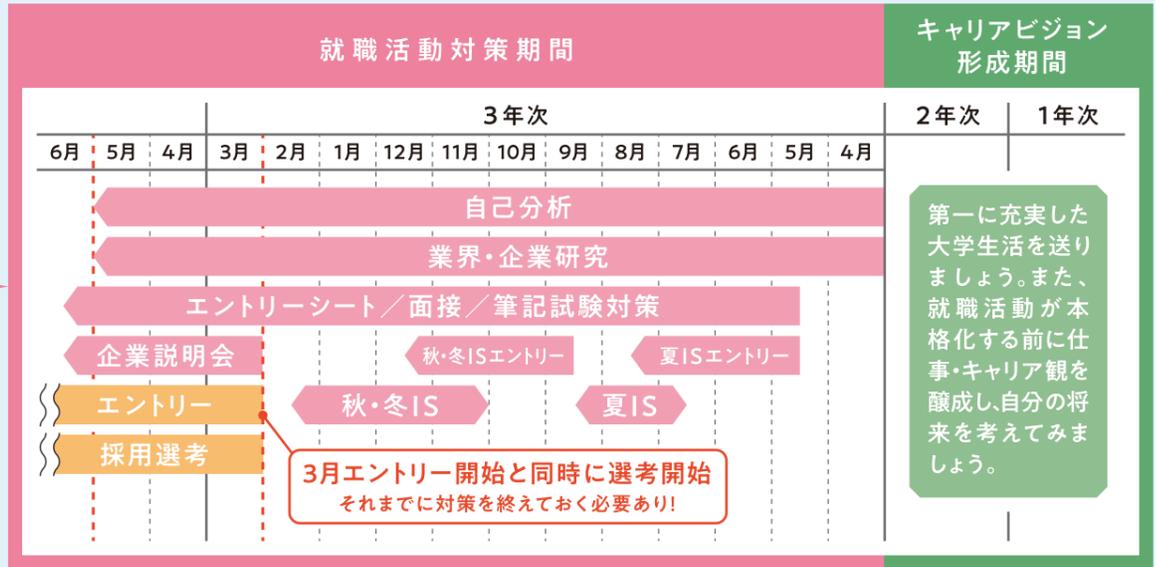
「就職活動は具体的に何をどう進めればいいのか？」
という声にお応えする「就活サプリ」。
就活に向けて今、必要な情報をギュッと凝縮し、皆さんをサポートします。

満足していく結果のために、
今、やるべきことを
確認しておきましょう。

長かった夏季休暇が終わり、
3年生は来年の3月から本格的にスタートする就職活動に向け、本腰を入れて準備を始める時期です。しかし、「自己分析が進まない」「志望動機をうまくまとめられない」などの悩みや不安を抱えている3年生も多いのではないのでしょうか？

そんな時こそ、就職課を積極的に活用しましょう。就職課では、志望先選びからエントリーシートの添削、面接対策まで学生一人ひとりに合わせた就職活動のサポートをしています。気になることがあれば、まずは就職課に相談しましょう。
また、1・2年生は日々の大学生生活を充実させるとともに、自分の将来の理想像について考えてみましょう。

〈就職活動対策スケジュール〉



Q 3年生で就活本番直前。誰かに相談したい！

A 就職課をフル活用しよう。

就活を目前に控えた3年生を就職課が全力でサポート。就活の始め方から実践的なスキルまでアドバイスします。

気になることがあったら、就職課へLet's GO! 私たちが一緒に解決します。



1 進路相談や面接対策が受けられる！

エントリーシートの添削や面接対策を受け付けています。プロのアドバイスをもとに自信を持って就活に取り組みます。

予約不要! 空き時間に相談OK いつでも面談

受付時間内であれば、予約不要で対面での面談が可能です。友人と一緒に面談を受けることもできます。

オンラインor対面でじっくり 予約制面談

国家資格を持つキャリアアドバイザーによる予約制の面談です。就活本番に向けて個別でじっくり相談したい学生におすすめです。【SAINSポータル→就職関連→アドバイザー面談予約】より予約できます。

▲面談利用者の声
ESの添削を通して自分自身を客観的に見ることができ、その後の就活に生かすことができました!
(外国語学部3年)

面談は何度でもOK!
エントリーシートも添削を重ねて伝わる文章に仕上げましょう!

就職課でできること

- 1 進路や就活の始め方を相談
- 2 自己PRやガクチカなどの添削
- 3 就活本番に向けた模擬面接



2 OB・OG情報や就活資料の閲覧ができる

就職活動を経験した内定者のアドバイスをはじめ、OB・OGに直接話を聞く機会を設けています。

OB・OG訪問を サポート

就職課から、本学OB・OGを紹介。興味のある企業や業界で働く先輩を訪ね、仕事の内容や働き方、給与など具体的な話を直接聞くことができます。
※紹介申請はMoodleの就職課コースからできます。

先輩の 就活体験情報を 収集できる

先輩方の就活体験談をまとめた「就活のしおり」が閲覧できます。また、先輩就活サポーターとの座談会も定期的に開催しています。

3 最新の就活情報が 入手できる!

就職課では時期に合わせてES対策、面接対策、GD対策、企業セミナー等のイベントを日々実施しています。また、公務員対策等の情報についても提供しています。

就職課なら、志望する業界・企業に合わせたアドバイスがもらえますよ!



皆さんの就職活動を
私たちが全力サポート!
一緒に頑張りましょう!



悩んだらいつでもおいで 就職課

就職課
公式LINEアカウント
@sw-syusyoku



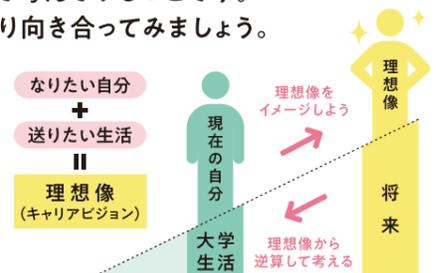
問い合わせ
西南学院大学 学生支援部 就職課
TEL:092-823-3321 (就職課直通)
E-mail:syusyoku@seinan-gu.ac.jp

Q 1・2年生のうちに行えることは? A 将来のこと、自分のことを考えてみよう。

就職活動の第一歩は、「将来」について考えてみることです。就活準備に追われる前に、自分とじっくり向き合ってみましょう。

POINT 01 どんな生き方がしたい? 「将来の理想像」を考えてみよう。

「こんな生き方がしたい」「こんな仕事をしたい」など、キャリアビジョンを考えてみましょう。インターンシップや、就活イベントへの参加、働いている方の話を聞くことでキャリアビジョンをイメージしやすくなります。また、描いたキャリアビジョンから逆算し、大学生活をどう過ごすかについて考えて行動してみましょう。



- ◆ 卒業後の理想像(キャリアビジョン)をイメージしよう。
- ◆ 理想像(キャリアビジョン)から逆算して、大学生活をどう過ごすか考えてみよう。

POINT 02 さまざまなことに挑戦して、 「自分」を知ろう。

ぜひ、1・2年生のうちに関心のあることへ積極的にチャレンジしましょう。自分の長所や適性、キャリアビジョンを見つけるヒントになるはずです。また、面接などで聞かれる「ガクチカ(学生時代に力を入れた経験)」にもつながります。

POINT 03 「目標」を持って 取り組もう。

何かに挑戦することを決めたら、「目標」を持って取り組みましょう。目標を持つことで、挑戦に対する成果や達成感、成長を実感できます。また、挑戦による成長を「強み」としてアピールできるはずです。

夏休みの挑戦を振り返り、「自分」や「自分の強み」を探ってみるのもおすすめです!





数々のフィリピンでの思い出の写真。「子どもたちとの交流が幸せの意味を考えるきっかけになりました」と話す大番さん。

国際文化学部国際文化学科

おお づく しま

2年 大番 島 さん

(九州産業大学付属九州産業高等学校出身)

Profile>>>

両親の影響で音楽や絵画など文化芸術への興味があり、2年次からは西南学院大学聖歌隊チャペルクワイアに所属。現在は社会科の教員を目指し、教職課程を履修するほか、来年2月には国際文化学部のプログラム「研究旅行奨励制度」を利用してフランス・パリでの調査研究を予定しているなど、さまざまなことに挑戦中。



キーワード

海外ボランティア・ワークキャンプ in フィリピン

学業に加え、スポーツやボランティアなど、さまざまな活動に熱心に打ち込む、学生の日常に密着。輝く姿の裏側にある努力と苦悩、そして熱い思いを、今ここに。

経済的な豊かさで幸福は測れない。

傲慢な考えを捨て、

生涯「Study hard」を続ける。

「誰かの役に立ちたい」。その思いが背中を押す。

高校生の頃から、「誰かの役に立つことがしたい」と、漠然と考えていました。そんな時ふと目に留まったのが、「海外ボランティア・ワークキャンプ in フィリピン」の募集。「挑戦できる時が来た」と、すぐに応募しました。また、アフリカン・アートのような、「非西洋圏」の文化に興味を持ち始めていたことから、フィリピンの地を訪れてみたいと思ったことも応募したきっかけの一つでした。

このボランティアは日本国際飢餓対策機構の協力のもと、2003年より実施されています。3年ぶりに実施された今回は12名の学生が参加し、2023年2月24日から3月2日までの1週間、フィリピン・マニラ近郊を訪問。現地の小学校や教会を訪れて絵本を贈呈したり、教会の礼拝に参加したりと、現地の子どもたちと親睦を深め、濃密な時間を過ごしました。数時間しか

一緒に過ごしていない子どもたちも「あなたたちに出会えて本当に良かった」と言葉をかけてくれ、その真っ直ぐな思いに何度も心を打たれました。

子どもたちに気付かされた

幸せの真理。

実は、意気込んでボランティアへ応募したものの、出発前は憂鬱な気持ちでいっぱいでした。「私が何か力になれるのか？」と葛藤に苦しむことも。実際、現地に到着してから、深刻な問題に直面する場面がたくさんありました。例えば、舗装されていない水浸しの通学路や、最低限の設備しかない教室、そして多くの子どもたちが経済的な理由で給食を食べることができないなど、目を背けたくなるような現実ばかり。さらに、私たちがホテル泊をしていたことによって、子どもたちが日々生活する環境との差をより強く感じる状況に…。私たちは

現地の人々の力になりたいと、フィリピンを訪れました。その使命を掲げる一方で、私たちが寝泊まりするのは、身の安全が確保され、設備が整ったホテル。最初の頃は、私たちがの思いと現状との乖離に戸惑い、悩みました。

しかし、活動を続けていると、そんな葛藤を晴らしてくれる気持ちがありました。それは、「貧しさ≠不幸」ではないということ。私たちは心のどこかで、私たちが彼らより幸福だと思い込んでいたのだと思います。しかし、経済的に豊かではなくても、彼らは強さと謙虚さを持ち、生き生きと暮らしている。相手を思いボランティア活動に参加したはずが、逆に多くの学びを得た1週間でした。

学び続けるという意志が、未来にひと筋の光を見出す。

今回特に学んだことは、「Study hard」です。帰国直前、現地

の方に「日本で私たちにできることは何ですか？」と尋ねたところ、この答えが返ってきました。この活動自体にフィリピンの現状を変える力はないかもしれませんが、今は取るに足らない一歩でも、私たちがさまざまな世界を学び、みんなで理解の輪を広げていくことで、未来に希望の光が差し込むかもしれません。それを理解できたからこそ、帰国後の生活にも変化が表れました。何不自由なく学び、遊べる環境に感謝しながら、興味を持ったこと全てに挑戦するつもりで行動しています。さらに、ボランティアで学んだことを次の世代に伝えるべく、社会科の教員という夢に向けて教職課程の履修もスタートしました。将来教員になった時に、教える子どもが既存の概念にとらわれない広い視野を培うために、私の経験が少しでも役立てばと思っています。そのためにも、自ら学ぶ姿勢を持ち続け、私自身の知見をさらに広げていきたいです。

これから
トライしたいこと



博多の歴史や文化を深く理解し、地域の発展に貢献したい!

商店街の活性化や地域のお祭りの運営など、地元の活動に参加したいと思っています。フィリピンの子どもたちが日本や福岡の町について興味を持って色々質問してくれたことで、私は大学でさまざまな国・地域の文化を学んでいるのに、自分が生まれ育った町については詳しくないことに気付きました。これからは地元のことをもっと学び、地域のにぎわいに少しでも貢献したいです。

社会で起こっている
さまざまな事象を先生方が
独自の視点で語ります。

教授の ヨノナカ考



国際文化学部国際文化学科
伊東 未来 准教授

大阪大学大学院博士後期課程修了。博士(人間科学)。近著に「かかわりあいの人類学」(栗本英世らと共著、2022年)、「差別と資本主義」(翻訳、尾上修悟らと共訳、2023年)など。専門は文化人類学。

いる人が見えない 少子社会

最近の日本では、少子化対策の議論がさかんです。一方、私がフィールドワークをおこなったマリは、合計特殊出生率が平均6.04人(2020年)の多子社会です。10年ほど前、マリ人考古学者が大阪にやって来ました。一緒に街を歩いていた時、彼が真剣な顔で尋ねてきました。「日本では、妊婦は家から出てはいけないという宗教的な決まりでもあるの?」。周囲の誰かしらが妊婦という国からやって来た彼は、日本であまりに妊婦を見かけないことをいぶかしみ、その理由を考えたのです。私は笑って、「ないよ。単に数が少ないだけ」と答えましたが、直後に、笑いごとではないと思直しました。少ないとは言え、妊婦はいます。いるのに見かけない。あるいは、反感を恐れてマタニティマークをあえて付けない人もるように、いるのに隠れている。その不自然さにぞっとし、先ほどの答えに付け足しました。「宗教的な決まりはないけれど、社会的な圧力はあるかもしれない」。制度新設や法改正だけでは、「いるが見える」社会はできません。

NEWS 03

硬式野球部が 第72回全日本大学野球選手権大会で健闘!

6月5日(月)、東京ドームにて第72回全日本大学野球選手権大会が行われ、本学硬式野球部が8年ぶりに出場しました。試合は0-4で敗戦し、残念ながら8年ぶりの全国大会1回戦で勝利を収めることはできませんでしたが、試合当日は福岡から本学関係者をはじめ、関東近郊在住の卒業生など、たくさんの方々が応援に駆けつけました。また、本学応援指導部応援団やチアリーダー、吹奏楽団も応援に駆けつけ、東京ドームのスタンドでは選手たちに負けないくらいの熱い応援が響き渡りました。



NEWS 04

読書教養講座を 開催しました (作家・温又柔さん)

6月30日(金)、作家の温又柔(おんゆうじゅう)さんを講師に迎え、「はざままで紡ぐ物語」というテーマで読書教養講座を開催しました。温さんは講演の中で、「詩や小説は読むものであるが、文字に表れていないものがある。それはそこにしかない音であり、人間が必要としているものは本の中にある」と温さん独自の感覚から活字を読む意義に加えて音と言葉の関係性について語りました。



NEWS 01

西南学院大学新体育館・プール棟が竣工しました

西南学院大学新体育館・プール棟が2023年6月末に竣工し、新体育館の名称が「西南学院大学体育館(ジムナシオン)」に決定しました。新体育館は、老朽化した建物の建替えおよび機能向上を目的として、大学キャンパスグランドデザインにおける事業として建設。大学西新グラウンド(西キャンパス)に、延床面積9,791.48㎡(体育館9,577.48㎡ プール棟214.00㎡)の規模で建設されました。

地上3階建ての新体育館は、西南学院のブランドイメージを象徴するレンガを基調とした外観で、屋上に太陽光パネルを設置し、環境負荷低減および省エネルギーを図るなど環境にも配慮した施設です。また、メイン・サブアリーナ上部に自然換気窓を設け、アリーナ面の重力差換気を図ることで、快適なスポーツ環境を実現します。加えて、本学と福岡市との防災協定により、災害時用マンホールトイレや防寒具・非常食の備蓄倉庫を備え、災害時には非常用発電による電力供給設備を備えた一時的避難施設としても活用される予定です。



引き続き、本学では教育研究環境の一層の充実を図るとともに、環境面や防災面における拠点として、地域社会と共生してまいります。



NEWS 02

【2つのメダル獲得!】鎌田真衣さん(人・社福3年)が 第6回世界デフバドミントン選手権(世界大会)に出場しました

鎌田真衣さん(人・社福3年)が、7月14日(金)~25日(火)にブラジルで開催された第6回世界デフバドミントン選手権に日本代表として出場し、見事、混合団体戦で銀メダル(準優勝)、女子ダブルスで銅メダル(3位)を獲得しました!



以下、世界大会を終えた鎌田さんのコメントを紹介します。

- ◎ 世界大会を終えて、今の率直な気持ちを教えてください。
まずは、無事に帰国できて安心しています。現地では、心身ともに緊張状態が続いていたので、あっという間に世界大会が終わった印象です。
- ◎ 世界大会での試合を振り返ってみていかがでしたか?
特に、試合中に会場の外から入ってくる「風」への対応が大変でした。まるで屋外でプレーをしているような感覚になるほどの風が会場で吹いていて、シャトルのコントロールに苦戦しました。また、女子ダブルスの試合では、練習以上の試合運びができ、これまでヘアと練習してきた成果が結果に結びついてうれしかったです。
- ◎ 世界大会出場前と出場後でご自身の気持ちの変化や収穫はありましたか?
日本代表として世界の舞台で戦う覚悟と責任を改めて感じる機会となりました。また、世界レベルの選手たちからバドミントン

に対する高い意識や取り組み姿勢を学ぶことができたこと、海外の選手やスタッフとコミュニケーションをとる中で、国際手話やASL(アメリカ手話)を学ぶことができたことは大きな収穫です。

◎ 見事、世界大会で2つのメダルを獲得しましたが、ご自身ではどのように受け止めていますか?
今大会でメダルを獲得できたことは、正直、自分でも驚いています。世界のトッププレーヤーと比較すると、まだまだ力不足です。課題も山積みだと感じています。

◎ 今後の目標や頑張りたいことについて教えてください。
残りわずかとなった学生生活で、社会福祉学科での学びやバドミントンはもちろん、チャレンジ精神を持ってさまざまなことに挑戦したいです。また、目標として2025年に東京で開催予定の「デフリンピックでメダルを獲得すること」と、今回の世界大会で叶わなかった「決勝戦でプレーをすること」ができるようにこれからも練習に励みます!



かまた まい
鎌田 真衣

小学6年生よりバドミントンを始め、中学3年生の時にデフバドミントンに出会う。現在、西南学院大学バドミントン部に所属し、デフバドミントン日本代表として代表合宿への参加や国際大会へ出場している。2022年9月に開催されたアジア太平洋デフバドミントン選手権大会で混合ダブルス2位。



Warsaw School of Economics

留学先協定校

ワルシャワ経済大学 [ポーランド]

留学期間：2022年9月～2023年6月

創立1906年、ポーランドの首都ワルシャワに位置する公立大学。5つの学部と大学院で構成され、経済大学としてはポーランドで最も古い歴史を持つ。学生数は約16,000人。英語による経済関連の科目が数多く開講され、多国籍の留学生が学ぶ。

空手をきつかけにポーランドへ。
繕わない素の自分で勝負できる
自信と英語力を手に入れた！

外国語学部外国語学科
わたなべ はると
4年 渡邊 陽大さん
(香住丘高等学校出身)

Q1

何を学びましたか？

主にマーケティングやリスクマネジメントの授業を履修しました。リスクマネジメントの授業では3人1組となり、授業の集大成としてプレゼンテーションを実施。もちろんすべて英語で行われ、専門用語も多く、最初は大変でしたが、無事やり遂げた時の達成感は一おでした。また、ポーランド語の授業も受け、日常生活や買い物などで使う簡単な言葉を学びました。

Q2

留学中の印象的なエピソードはありますか？

ポーランドの学生はとにかくお酒が強い！約1週間あるオリエンテーション期間中は、クラブやバーに学生同士で行くのが慣例なのですが、彼らの酒豪ぶりに驚きました。お酒の席に顔を出したことで、みんなと親しくなるきっかけとなりました！

Q3

現地ではどんな食生活を送っていましたか？

普段は寮の共同キッチンで自炊をしていました。外食時は、ポーランドの伝統料理で酸味のあるスープのジュレック、カツレツのようなコトレット、ポテトパンケーキ(甘くない!)などのポーランドでよく食べられている料理を食べていました。高カロリーなガッツリメニューが多く、留学前と比べて結構太りました(笑)。



気持ちの整理も兼ねて空手の練習に参加!

「人とのつながりを大切に」。師範からの教えが心に響く。



友人たちと訪れたイタリア・ローマの世界遺産「コロッセオ」



イースターの時にポーランドの友人が家に招待してくれました!

留学先にポーランドを選んだのは、私が小学4年から続けている空手がきっかけです。私の空手の師範がポーランドを何度か訪れていたため、現地の話をよく聞いていました。ポーランドには騎士道精神が根付いており、それが日本の武士道精神にも通ずる部分がある。さらには親日国でもある。ポーランドは私にとって好きな空手ができる、語学や経済学も学べるという理想的な環境だったため、留学先を選びました。

留学の際に掲げた目標は、人とのつながりやコミュニケーションを大切にすること。師範から「人脈が大切」と昔からよく言われており、留学前にもこの言葉を贈ってもらいました。当時は師範の真意が理解できていませんでしたが、今その言葉の重みを実感しています。

なぜなら、留学中にルームメイトと人付き合いをめぐって問題が起きたからです。ある時ルームメイトから、「一人に合わせてばかりで陽大



中央部の都市ウッチにて



港湾都市のグダニスクの海でピクニック

の本気の気持ちが見えてこない」と言われ、すごくショックを受けたんです。しかし、自分の言動を振り返ると、思い当たる節もたくさんあって…。留学前は周りの意見に合わせる場面が多くありました。例えば、翌朝に予定があっても少し無理して遊びに付き合ったり、行きたい場所も相手の意思に委ねたりと、誰にでも良い顔をしていただのだと思います。もちろん、ストレートに意見を言っ、相手への配慮を欠くことがあってはいけません。しかし、ありのままの自分で向き合っこそ、大切な友人を本当の意味で大切にできると、気付くことができました。



みんなありがとう!



ワルシャワ最後の日のみんなの夜ご飯

Point

語学系動画などをお手本に、 反復練習で会話力を底上げ!

英語の勉強は、PodcastやYouTubeの語学系の音声や動画を流しながら、シャドーイングやディクテーションを行い、「翌日に大学で実践する」の繰り返し。その甲斐あって現在は、日常会話は全く問題ないレベルになりました!しかし、現地のスーパーは英語が通じない店が多いので、基礎的なポーランド語は必須。簡単な会話や頻出単語はとにかく書いて覚えしました。



人とのようなつながり、
コミュニケーションを取るかを
考える機会になりました。

オンラインでは

共有することが難しい
身体による非言語的な

コミュニケーション。

新型コロナウイルス感染症(以下、
コロナ)の流行によって、私たちは
「対面で会う」という当たり前だっ
たコミュニケーションの機会を多く
奪われました。このような状況下、
他者とのコミュニケーションツール
として活用されたのが、Zoomな
どのオンライン会議システムです。
では、「対面」と「オンライン」で
は、会話の質にどのような差異があ
るのでしょうか。身体の動きや感覚
などを示す「身体性」という心理学
のテーマから両者の違いを調査した
研究によると、第一に「視線」の違い
が挙げられます。対面では、誰が誰
を見ているかを瞬時に共有するこ
とができるため、発話者を定める場
面が構成されやすい一方、オンライ
ンでは視線をキャッチしにくく、そ
うした場面をつくるのが難しくな
ります。第二に「身体的な同調、

同期」の違いが挙げられます。例え
ば、うなずく動作によって相手との
一体感が生まれるように、対面では
身体的相互作用が起こりやすくな
ります。そのため、「場の共有」が意
識化されやすく、発話内容が際立
ちにくいと考えられます。逆に、身
体的な同調や同期が起こりにくい
オンラインでは、「場の共有」よりも
「発話内容の共有」が意識化されや
すくなります。そして第三に、視線、
姿勢、距離の情報といった「非言語
的な情報」に違いがあり、対面に比
べてオンラインは非言語的な情報
が少なくなります。そのため、「場」
や「間」の形成が難しく、発言や退
出のタイミングが難しいというの
もこのことが関係しています。

確かに、私たちの日々のコミュニ
ケーションは、言葉の内容だけでなく、
相手の身体感覚に影響を受
けながら相手からの非言語的な情
報を感じ取り、「場」や「間」を共有
しながら会話を展開しています。こ
うした身体感覚のレベルで、相手
と共にいるという実感を持つこと

商学部 × 人間科学部

新型コロナウイルス感染症は、 どのような変化をもたらしましたか?

MY ANSWER

社会や時事問題に関する素朴な疑問に、2人の教授が答えます。それぞれの専門領域から
導き出された「マイアンサー」とは?きっとあなたの知の扉を開いてくれるはずです。

は、オンラインのコミュニケーション
では限界があるといえるでしょう。

オンラインは新たな

対話ツールとして定着。

身体感覚のレベルでつながる
ことが難しいオンラインですが、人
間は新たな環境に適応して順応して
いく生物です。オンラインツールの
使い方が分かってくると、身体を
調整してコミュニケーションの取り
方を模索し、順応させてきました。
例えば、オンラインで大事な話をす
る時、相手の非言語的なものを普
段以上に画面上から感じ取るよう
と五感を働かせ、自分の気持ちをい
つ以上に言葉にして伝えようと努
力したのではないのでしょうか。一方、
会議のように言語的な情報が重視
される対話においては、相手から語
られる発話内容に集中し、対面
でないがゆえにつかめない情報を何
とか補おうとします。

そして、再び対面での会話が日
常に戻りつつある現在もコロナ禍
で獲得したコミュニケーションの取
り方は消えることなく、選択肢の
一つに加えられています。例えば、会
議ではオンラインが「コミュニケーション
の手段として残っています。
一方、身体レベルでの場の共有が必
要な相手とは対面で会い、身体
の動きを相手と同調・同期させなが
ら対話します。そのように目的に
応じて相手との関係性で必要とさ
れるコミュニケーションの取り方を
うまく選択し、多様なコミュニケー
ションが行われているのです。
コロナ禍では、やりたいことに挑
戦できず、悔しい思いをした人がた
くさんいるでしょう。しかし、コロナ
で失われた期間が、実は大切な時間
だったと意味付けできる時が来る
と思います。そのためには、現在を
いきいきと生きることが大切です。
「現在の生き方は、連続線上にあ
る「過去」への意味付けを変え、さ
らに「未来」への向き合い方も変え
ることでしょう。ぜひ、現在の大学
生活を大いに楽しみ、充実した日々
を送ってほしいと思います。

人間科学部心理学科

いのうえ くみこ

井上 久美子 教授

九州大学大学院人間環境学府
人間共生システム専攻博士課程修了。
研究分野は身体への意識性と自己制御、
アクション・メソッド。

良いものは売れる時代から
社会貢献なしでは
ものが売れない時代へ。

私の専門分野である商学の視
点から新型コロナウイルス感染症
(以下、コロナ)の拡大前後の市場
を比べてみると、「市場のゲーム
ルール」の変化が急速に進んだよ
うに思います。

市場のゲームルールとは、「どの
ような商品・サービスを売るのか」
という企業の競争の軸や評価基準
の軸のことを指します。具体的に言
えば、企業に求められる役割には
「経済活動」と「社会貢献活動」の2
軸があり、従来は経済活動と社会
貢献活動は独立したものと捉
えられ、利益を最大化する経済活
動こそが企業の本業でした。そのた
め、社会貢献活動は余力で行う補
完的な役割しかありませんでした。

ところが、コロナを機に2軸のパ
ランスが急激に変化し、社会貢献
活動を通じてしか経済的な成果
が得られない社会へと変化したので

す。その象徴的な事例が、スーパ
ストックキーヨーの「離乳食の無料
提供」をめぐる騒動でしょう。当
初、同社の「離乳食の無料提供」の
告知に対して、SNS上で「既存顧
客の軽視や差別ではないか」とい
うネガティブな評価が数多く言及さ
れ、炎上騒ぎとなりました。しかし、
これに対してスーパーストック
キーヨーは謝罪をするのではなく、
「自社が社会の中で何を實現しよ
うとしているのか」「そのためにな
ぜこの施策が必要なのか」「そのた
めに人々とのような共同・共創
をしたいのか」を声明文で説明した
のです。この毅然とした対応が大
きな反響を呼び、多くの支持を集
めました。

かつては良いものを作れば売れる
時代でしたが、コロナ禍を経た今、
「商品やサービスを通じて、どのよ
うな課題を解決してくれるか」とい
うところにまで消費者の意識は進ん
でいます。つまり、企業が果たす役
割は、社会貢献しか「あり得ない時
代へと突入した」といえるでしょう。

市場における競争の軸が変わり、
企業に求められる役割が
経済活動から社会貢献活動へと
急激に変化しました。

では、経済活動から社会貢献活
動への変化に対して、「コロナはどの
ような影響を与えたのでしょうか。」
間違いなく言えることは、社会
全体であれほど必死に「この問題
に向き合ったことは、この数十年を
振り返ってもコロナしかないでし
ょう。それくらい企業も消費者も悩
みを共有した数年間でした。だか
らこそ、マスクの無償配布や食料の
無料提供など、企業の社会貢献活
動は消費者にポジティブなインパ
クトを与え、社会的な責任を果たす
ことが企業の役割として求められ
るようになったのです。

コロナという難題に
社会全体で向き合う中で
高まった社会貢献意識。

また、企業の社会貢献活動を後
押しした背景としてMZ世代※の
存在が大きいです。彼らは「デジ
タルネイティブ」といわれ、それまで
の世代と価値観や行動が大きく異
なることが指摘されています。その
特徴の一つとして、社会的価値の追

求や社会貢献活動への積極的な参
加があります。というのも、彼らは
SNSなどを通じて、バブル崩壊
後を生きてきた世代の苦勞を耳に
してきました。その中で芽生えた
のが、「自分たちで何かしないと、世
の中は変わらない」という意識であ
り、社会貢献への強い関心につな
がったといえます。このMZ世代が10年
後20年後、生活者としてはもちろ
ん、ビジネスパーソンとして日本経
済の中心となり、新しい世界をつ
くる側になります。その時はきっと企
業の社会貢献活動への動きはさら
に進んでいることでしょう。

そして現在、大学で学んでいる学
生の皆さんこそが、これから新しい
世界をつくる人たちです。そんな皆
さんに望むことは、さまざまな「経
験」をして自分の世界を広げてほ
しい。普段の自分ならやらないよ
うなことにどんどん挑戦してくだ
さい。経験は、自らの思いを通す切
り札になります。ぜひ異世界に転
生するくらいの勢いで毎日を過
しててください。

商学部商学科

まつだ あつろう

松田 温郎 教授

神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。
研究分野は商業論、マーケティング論。

#186
interview with OB/OG

富士フイルム
ビジネスイノベーションジャパン株式会社
取締役社長



はた ぶ たいいち
旗生 泰一 さん
(佐賀北高等学校出身)
1987年
経済学部経済学科卒業

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)の取締役社長・旗生泰一さんは、デジタル化が急速に進んだ時代のたったただ中で、新しいビジネスを切り開いてきました。そんな旗生さんに変化する時代に必要な力、経営者としての志を伺いました。

急速に変化するビジネス環境において、
変わらない大切なものは、
”人”としてどうあるべきか。

40歳で新規事業に挑戦。
学びの中で得た
マネジメントスタイル。

学生時代は、硬式野球部に所属し、グラウンドとキャンパスの往復の日々でした。毎日のように一緒に過ごした部活動の仲間とは、卒業から40年近く経った現在も連絡を取り合う仲です。学業面では、積極的に取り組んだものではなく、「もつと真面目に勉強しておけば良かった」と思う今日この頃です。

大学卒業後は、富士フイルム・ビジネスイノベーションジャパン株式会社の前身、富士ゼロックス株式会社に営業職で入社しました。当時、ビジネス文書は「紙」の時代。当社でもコピー機・複合機の販売が事業の大部分を占め、私もこれらの自社製品を販売していました。デジタル化が進んだ現在は、「ビジネスDX」をキーワードにお客様の経営課題や業務課題を解決する事業を展開しています。

その一つであるアウトソーシング事業は、私が立ち上げから携わった事業です。ビジネスで使用する紙や電子データといった「ドキュメント」の流れや品質を改善することで業務の生産性を向上する、会社にとっても、私自身にとっても、40歳にして新しいビジネス領域への挑戦だったため、それまでの知識やス

キルは通用しない。一から教えてくれる人もいない。そういう環境の中で自ら学び、実践し、一つひとつ形にしていく、こういう経験があったからこそ、その後も新たなビジネス領域に臆することなく飛び込むことができました。加えて、「分かりやすく伝え、納得して動いてもらう」というマネジメントスタイルを築くことができました。

結果にこだわるからこそ、
お客様と対等な関係を築く。

「ビジネスマンとして大切なことは何ですか？」と質問されることがあります。人として大事なことが、ビジネスマンとしても大事なこと、というのが私の考えです。例えば、仕事でミスをした時、ごまかさずに謝ることができるか。これが大事だと思うのです。嘘をつかない。「ありがとう」「ごめんなさい」を



「ストレートに伝わる言葉で話すことを意識しています」と旗生さん。

History

- < 36年目 > — < 35年目 > — < 23年目 > — < 20年目 > — < 18年目 > — < 5年目 > — < 1年目 >

旧社名「富士ゼロックス株」の広島営業所に営業職として配属。社会人として自立することを目指す。

福岡営業所に転勤。営業マネージャーとしてスタッフの育成を担当。

東京へ転勤。新設部署でアウトソーシング事業の立ち上げに携わる。新たな知識を身に付けるため、ひらすら学びの日々。

新規立ち上げに携わったソリューション・アウトソーシング領域の部門長へ。

米国ゼロックス社が行っていたグローバルサービス。日本へ展開する事業の統括部長に就任。新しい事業、未経験の役割を通して、マネジメントスタイルを確立。

2021年4月、富士ゼロックス(株)の販売機能部門と国内の33販売会社1関連会社を統合し、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)を設立。常務執行役員に就任。

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)の取締役社長に就任。約1万2千人の社員を率いるリーダーに。

きちんと言う。誠実に人と向き合う。これに尽きるとしています。

また、ビジネスを進める上でお客様とは対等な立場であると考えています。業務や経営の課題解決という共通の目的のためには、言うべきことはきちんと言う。その結果、「仕事の効率が上がった」「コストが下がった」など、狙い通りの効果が出た時がビジネスの醍醐味であり、やりがいを感じる瞬間です。

1万2千人の社員全員が
同じ方向へ進んでいくために、
常に言葉で想いを伝えていく。

社長に就任して約1年。社員には「私がどんなことをやりたいか」ということをよく話しています。やはり企業として社員全員で前に向かって進んで行きたい。だからと

旗生さんにとって「働く」とは？

若い頃は、「働く=お金を稼ぐこと」でした。しかし、年齢を重ねた今は、仕事を通してお客様に貢献し、お客様の仕事を通じて社会に貢献できていると思うようになりました。

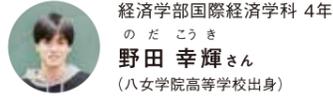
社会に貢献する、って！



→ 旗生 泰一 さん は 先 非 串

ディスカッションを通して
1つの答えを導く過程が面白い!

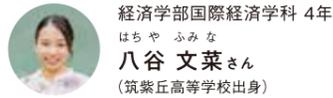
立石ゼミの魅力は、活発に意見交換できる
和やかな雰囲気です。自分と異なる意見に新
たな気づきをもたらすことも。そうしたさまざ
まな意見を一つにまとめる過程に面白さを感じ
ています。また、立石先生の優しさとユー
モアにも癒やされます!



経済学部国際経済学科 4年
のだ こうき
野田 幸輝さん
(八女学院高等学校出身)

アメリカ経済を学んだことで、
新しい視点で
世の中を見るきっかけに。

立石ゼミで学ぶようになってから、世の中で
起こっている経済現象を知ることが楽しくな
りました。実は、日本の物価上昇にアメリカ経
済が影響していると分かった時は、アメリカ経
済をぐっと身近に感じることができ、学習意欲
も高まりました。



経済学部国際経済学科 4年
はちや ふみな
八谷 文菜さん
(筑紫丘高等学校出身)



【論文テーマ】

- ▶ グローバル化とナショナリズムの行方
(2022年度4年生)
- ▶ ヒップホップ・カルチャーが
アメリカ経済に与える影響とその影響力
(2021年度4年生)
- ▶ アメリカの格差と肥満
-なぜ低所得者は肥えるのか-
(2020年度4年生)



ゼミでは、アメリカ経済が直面し
ている課題を取り上げ、各自で調
査・研究し、自らの意見を発表する
スタイルで進めています。2023
年度は「アメリカ経済の内向化と
世界経済の行方」に焦点を当てて
研究を進めています。その中で、「最
低賃金の地域的格差はなぜ生じる
か」「トランプ支持層はどのような
特徴を持っているか」などのテーマ
に取り組みながら、多様な側面から
アメリカ経済が抱える課題の本質
を考察します。

こうした演習を通して、3年次は
資料の探し方や読み方、論点の整
理の方法などを習得します。4年
次では3年次に身に付けたことを
生かし、卒業論文の執筆に取り組み
ます。卒業論文のテーマは、アメリカ
経済に関連するものであれば、自
由です。書きやすいテーマよりも、学
生の好奇心や関心のある社会問題
をテーマにすることをすすめており、
毎年個性豊かなテーマが揃います。
私がゼミで重視していることは、
情報を収集し、分析し、説得力のある
論文にまとめるスキルはもちろん

ここが面白い!
立石ゼミ

就活直前の3年生に
ゼミの先輩が
アドバイス!

3年生が本格的に就職活動を
始める夏から秋頃、4年生やゼ
ミ卒業生が自らの就活体験を
語る機会を設けています。「こ
の対策はおすすめ」「私はこれ
で失敗した」などの先輩たちの
リアルな就活体験談は、就職
活動に不安を抱える3年生に
とって心強いアドバイスとなっ
ています。

んですが、問題を見出し、掘り下げ
ることに喜びを感じ、探究する
姿勢や態度を身に付けること
です。卒業論文のテーマで学生の
興味関心を重視しているのも、知
的好奇心こそが研究の原動力と
考えるからです。ですから、4年次
には卒業論文で興味関心のあるこ
とに納得いくまで掘り下げてほし
いと思っています。

常に知識の更新が必要なこれか
らの時代において、「探究する力」は
必要不可欠な力です。ゼミで身に
付けた「なぜだろう?」と感じる力、
当たり前を、当たり前として見逃
さない力があれば、変化の激しい社
会でもしっかりと本質を見極める
ことができます。また、旺盛な好奇
心が人生そのものを豊かにしてく
れるでしょう。

そして、「人と違う考え方も大
丈夫」ということもゼミで学んでほ
しいです。問題の捉え方や好奇心
のツボは人それぞれ。ゼミでさまざ
まな意見に触れ、違いを大切にし
ながら、互いに学び合う姿
勢を身に付けてください。



Close up!
立石ゼミ

アメリカ経済への
探究を通して、
知的好奇心の
扉を開く。

アメリカ経済



教授の研究テーマ

グローバル化と国民経済

現在、「グローバル化」と国民経済」をテーマに研究していま
す。具体的には、アメリカ経済を対
象に、「どの程度、自国の経済をグ
ローバル化するべきか」という課題
を研究しています。

一般的に経済学では、貿易自由
化によってグローバル化が進むと考
えられてきました。その言葉通り、
1991年の冷戦終結以降、世界
経済は、グローバル化ととも
に成長した時代でした。ところが
、2008年の世界金融危機以
降、世界貿易の成長率は低下。さ
らに、自国の産業を守るために輸
入に制限をかける保護貿易政策
を展開する国の登場や経済摩擦に
よる対立が激化するなど、グロ
ーバル化の進捗は鈍化しています。

グローバル化が進んでい
るのでしよう。私は、経済活動その
ものを支える「社会基盤」、つまり
国民経済がグローバル化によって支
えられなくなってきたこと
が原因と考えています。事実、アメ
リカでは1990年以降、対外生
産への依存や移民の大量流入など
のグローバル化が進んだ結
果、雇用の減少や貧富の差などが
拡大。多くのアメリカ国民がその
恩恵を受けていないと感じてい
たのです。これをうまく利用したの
がドナルド・トランプ氏で、低所得
層の白人の支持を得て大統領の座
についたといわれています。

では、どの程度、自国の経済をグ
ローバル化すべきなのか。例
えば、私たちが外で働いて
社会と関わり続けるに
は、健全な心身を支え
る「家庭」という生活基



盤が安定していることが大事です
よね。これと同じように、社会基盤
が崩れない、自国民が安心
して暮らせる程度で、
グローバル化を進めるべきである
というのが私の考え
です。そして、世界が一
つとなつてさまざまな課題
を解決していかなければならない
これからの時代、各国が世界の一員
として役割を果たすには、自国の
社会基盤が安定的に機能してい
ることが必要ではないでしょうか。

さて、皆さんは世界をどのよう
に見ますか? 日本を出て、世界の
地に立った時、自分を支えてい
る「基盤」を感じることが
できるでしょうか。ゼ
ミ、一度世界に足を
踏み出して考えて
みてください。

経済学部国際経済学科

たて いし だけし

立石 剛 教授

九州大学大学院
経済学研究科後期博士課程修了。
研究分野はアメリカ経済論、
国際経済論。



開いてみよう!

知のトビラ

教授の研究にクローズアップ!

経済のグローバル化と 国民経済の適切なバランスとは?

教えて先生
Q&A

Q 現在の研究テーマを
研究しようと思ったきっかけは?

大学3年生の時に受講した「外国為替論」とい
う授業がきっかけです。当初、単なる手続業務で
しかないと思っていた「貿易実務」が、実は国際
通貨問題という世界全体に影響する大きな問
題の根源であることを理解した時、真理を見出
す研究活動の奥深さに感動。研究の道に進む
ことを決めました。

Q 学生時代は
どのような学生でしたか?

「やってから考えよう」という好奇心の塊のような
学生でした。「人生一度きりなので、後悔したくない」
という信念を大切に、さまざまなことに挑
戦しました。特に、40日間10万円で敢行したア
ジア放浪旅は、辛
すぎて忘れられま
せん(笑)。



中国・西安付近の
「秦の始皇帝」の墓
で撮影。

